

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	武雄市立川登中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	○評価項目の14項目中11項目について、十分達成することができた。「おおむね達成」の状況である3項目については、以下のようにして改善を図っていく。 ・「平日の家庭学習時間が1時間以上になる生徒の割合を80%にする。」については、現在の受動的な意識から能動的な意識へと成長させる必要がある。そのために、授業と運動した課題やより効果的な自主学習ノートの在り方など、生徒各自が家庭学習の質を高める方策を講じていく。 ・「部活動の推進」については、部活動の入部者が少なくなってきたのが実情である。部活動の充実を目指すために、武雄市の方針に沿って地域部活動への移行を視野に入れ効果的な部活動運営の推進を図る。 ・「校務の効率化」については、時間外勤務の月平均は約35時間であり、年度当初より短くなっている。業務の効率化や教職員の負担軽減と生徒育成のために効果のある業務とを対比しながら、引き続き業務の精選を模索していく必要がある。 ○今年度、取り組んだ内容について、特に効果が出てきている項目については、引き続き重点項目として取り組む。 ・「思考力・判断力・表現力の深まりを目指す授業の実践」について、昨年度に引き続き「対話学習を取り入れること」を中心に取り組んだ。教職員がお互いに他教科のノウハウから学ぶという意識の向上が見られた一年間だった。 - また、週に1回、朝の会で「〔川中タイム〕継続的なコミュニケーション活動」を行うことで、生徒たちの意識の変容が見られ効果が出てきている。来年度も引き続き全職員の共通理解・共通実践のもと、思考力・判断力・表現力の向上に努める。 ・ICT機器を利用した学ぶ意欲を高める指導の工夫については、肯定的な回答が多い。特に、昨年度から生成AIを活用した授業など最新技術も積極的に導入してきており、業務改善、授業改善への効果は大きい。働き方改革や個別最適な学び、協働的な学びの充実のために、引き続き活用していく。
------------------	---

2 学校教育目標	自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成
----------	--------------------

3 本年度の重点目標	(1) 豊かな人間性と社会性の育成 (2) 確かな学びの充実 (3) たくましく生きるための健康の推進 (4) 地域との共生と郷土愛の醸成
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○生徒にとって魅力的だと思えるようなあての提示と教材を工夫し、学ぶ意欲が高まったと回答する生徒70%以上		・		・		・	・学力向上対策CD ・研究主任	
	○思考力・判断力・表現力の深まりを目指す授業の実践	○「主体的・対話的な学びで、自分の考えが深まったり、広がったりした」に、肯定的な回答をする生徒75%以上		・		・		・	・学力向上対策CD ・研究主任	
	○家庭と連携した学習環境づくり	○平日の家庭学習時間が1時間以上になる生徒75%以上		・		・		・	・学力向上対策CD ・研究主任	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業で自分の思いや考えを深めたり、自分とは違う思いや考え方に触れたりすることができた」の質問に肯定的な回答をする生徒80%以上		・		・		・	・道徳教育推進教師	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○人権や差別についての理解が深まったと感じる生徒70%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上		・		・		・	・生徒指導主事 ・人権・同和教育	
	●◎生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒75%以上		・		・		・	・進路指導主事 ・各学年主任	
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」生徒85%以上		・		・		・	・食育・給食担当 [大野先生]	
	●健康を考えて行動できる能力の育成	●「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた生徒80%以上		・		・		・	・体育主任 [山口先生] ・養護教諭 [綿学先生]	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・		・		・	・管理職	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に関する専門性や意識が向上した」と回答した教員80%以上		・		・		・	・特別支援教育担当	
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	○ICT機器を利用した学ぶ意欲を高める指導の工夫	○「先生たちはわかりやすい授業にするためにICT機器を積極的に使っている」と思う生徒・保護者90%以上		・		・		・	・情報教育推進教員	
○地域と学校の協働による学校づくり	○地域と学校の相互の関わりを深める教育活動の推進(コミュニティ・スクール)	○地域人材を活用した授業や行事を年に5回以上実施する。 ○情報公開を推進し、学校HPの更新回数を月に4回以上行う。		・		・		・	・文化的行事担当 ・管理職	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------